

## 愛知県臨床検査標準化協議会推奨方法（4） 弾性線維染色（EVG）

Elastica Van Gieson（以下 EVG）染色は弾性線維を黒紫色、膠原線維を赤色、筋線維を黄色に染め分けることができ、特殊染色の中でよく用いられる染色法である。EVG 染色により心血管系病変のほか、傷害組織の修復過程の線維化の程度や、腫瘍の脈管侵襲の有無などをより明瞭に知ることが可能である。

### 推奨染色法

1. 脱パラフィン・水洗
2. 70%エタノール . . . . . 1分 注1)
3. レゾルシン・フクシン液 . . . . . 60～120分 注2)
4. 100%エタノール（分別） 注3)
5. 水洗 . . . . . 5分
6. 鉄ヘマトキシリン液 . . . . . 5分 注4)
7. 水洗
8. 1%塩酸70%エタノール（分別） 注5)
9. 流水水洗・色だし . . . . . 10分
10. ワンギーソン液 . . . . . 2～5分 注6)
11. 70%エタノール（分別） 注7)
12. 脱水・透徹・封入 注8)

### 染色液および試薬の調製

#### I. レゾルシン・フクシン液

- ・レゾルシン・フクシン粉末 . . . . . 0.2 g
- ・2%塩酸エタノール . . . . . 20 ml
- ・1%塩酸70%エタノール . . . . . 80 ml

※ レゾルシン・フクシン粉末に2%塩酸エタノールを加えて溶かし、1%塩酸70%エタノールを加えて全量が100mlとなるよう作製する。

#### II. 鉄ヘマトキシリン液（用時調整）

- ・A液：ヘマトキシリン . . . . . 1 g
- 純エタノール . . . . . 100 ml
- ・B液：29%塩化第二鉄液 . . . . . 4 ml
- 濃塩酸（36%） . . . . . 1 ml
- 蒸留水 . . . . . 95 ml

※ 使用のおよそ30分前にA液とB液を等量混合し使用する。

#### III. ワンギーソン液

- ・飽和ピクリン酸水溶液（約1.2%）
- ・1%酸性フクシン水溶液

※ 使用時に飽和ピクリン酸：酸性フクシン水溶液＝10容：1.5容に混合し使用する。

